

平成 25 年 1 月 17 日

平成 24 年度放射線機器管理士・放射線管理士合同学会大会

概要

宮城県放射線技師会は放射線管理士と行政と連携して住民相談を行ってきました。その中で、小児甲状腺がんに対する不安が根強くあり、相談会での説明に苦慮することも多かった。そこで、甲状腺疾患と被ばくについて長年研究され、日本の第一人者である東北大学の藤盛啓成先生に特別講演をお願いしました。藤盛先生はマーシャル諸島やチェルノブイリに詳しく、福島県での調査にも参加され、宮城県健康影響に関する有識者会議のメンバーでもあります。貴重なお話しを聞ける機会と考えています。また、機器管理士活動では、放射線機器の日常管理や保守点検の報告書において、みやぎ県南中核病院と栗原中央病院の報告書が監査官から高い評価を受けています。この二施設の管理内容について報告を頂きます。管理士以外の参加も歓迎いたします。

日時 : 平成 25 年 2 月 24 日 (日) 受付 13:00 開始 13:30 から 16:30

会場 : 仙台医療センター・メディカルトレーニングセンター

参加対象 : 管理士及び宮城県放射線技師会会員 (会員証をご持参下さい)

プログラム

13:30-14:30 特別講演「放射線被ばくと小児甲状腺がんについて」

東北大学病院乳腺内分泌外科準教授 藤盛啓成先生

14:45-14:55 休息

14:55-15:10 宮城県主催「放射線・放射能に関するセミナー・相談会」報告 放射線管理士班

15:10-15:30 「当院における装置管理情報の共有化」 みやぎ県南中核病院 佐藤州彦

15:30-16:10 「医療機器安全管理の記録様式と測定器検出限界以下 (N.D.) に対する漏洩線量 (推定最大値) の計算について」 栗原中央病院 引地健生

16:10-16:30 質疑

